

8月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
いい子のあくび	高瀬 隼子	公私共にわたしは「いい子」。人よりもすこし先に気づくタイプ。「割りに合わなさ」を訴える女性を描いた表題作（「いい子のあくび」）。結婚の形式、幸せとは何かを問う（「末永い幸せ」）ほか、社会に適応しつつも、常に違和感を抱えて生きる人たちへ贈る全3話
あなたには、殺せません	石持 浅海	相談員は犯罪者予備軍たる人々から聞き出した犯行計画の穴を次々と指摘していく。不備を突かれた者たちの殺意は、果たして本懐を遂げるのか。犯罪発生を未然に防ぐ!? 新しい形の倒叙ミステリ短編集!
心眼	相場 英雄	新米刑事・片桐は、犯人を見つけられない。ベテラン刑事・稲本は、圧倒的な結果を残す。新たに就任した捜査一課長は、ハイテク捜査を実施、「見当たり捜査班不要論」をぶち上げた。絶体絶命のピンチを、片桐は脱することができるのか?
いつまで	畠中 恵	長崎屋から妖が消えた! 最初は嘶家の場久、次は火幻医師。彼らを探すため、影内に紛れ込んだ病弱若だんなは大事な友を救うため、果敢に悪夢に飛び込んだ若だんなだが、目覚めた先はなんと五年後の江戸。鍵を握るのは、以津真天なのか、それとももっと大きな力なのか……。
カモナマイハウス	重松 清	空き家の数だけ家族があり、家族の数だけ事情があるー。個性豊かな面々が空き家を舞台に繰り広げる涙と笑いのドラマ、ここに開幕!
星合う夜の失せもの探し 秋葉図書館の四季	森谷 明子	ススキ野原のまんなかにつつ秋葉図書館。ここの司書さんは探偵で、図書館の本で謎を解決してくれるということ。帰郷の折にふらりと訪れた人から、地元の小学生や恋する大人まで、悩みを抱えた人たちにそっと本を差し出すと……。本好きにはたまらない、ほんわか図書館ミステリのちょっぴり番外編。
限界国家	楡 周平	これは本当に小説なのか!? 30年後の日本社会がどうなっているか調査をすると……仕事はAIにより「人間は不要」になり、働きたくても働けない人たちが続出。また、地方の過疎化は深刻化の一方だという。老いも若きも男も女も、全世代必読の未来予想小説。
どすこいすしすもう やさいばだけでおおあばれ!	アン マサコ	はじめてのれっしゃのたびに、おおよるこびのすしりきしたち。でむかえてくれたのは…? おすしとやさいのちからくらべ。しょうぶのゆくえは…? すし×すもうのかわいいキャラが、アニメで人気沸騰!

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」
- 「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

